

# 『三中ハローワーク』の取り組み

大阪府松原市立松原第三中学校

## 1 本校の概要と学校教育目標

学校規模

学級数：17学級

生徒数：541名

教職員数：42名

生活や学力に課題を抱える生徒を学校の中心に据え、豊かな体験と効果的な学力の保障から、生徒全体の夢の実現を

## 2 本年度の学校教育重点目標

本年4月からの完全学校週5日制のもと、「生きる力」育成とともに基礎・基本の定着と個性を生かす教育を基本的なねらいとする新しい学習指導要領が実施され、保護者・地域住民から信頼される特色と個性豊かな学校づくりが求められている。昨年、一昨年の文部科学省委嘱の「小中連携教育研究推進校」としての研究・実践を引きつぎ、次の5点の課題の発展、充実を本年度の学校教育重点目標に設定した。

【松原三中の5つのクエスト（探求）】

クエスト	基礎・基本の確実な定着と個に応じた発展的学力の伸長をめざした授業改革
クエスト	生徒の生活の現実・夢をみすえ、自尊感情を育む集団づくり・学級づくり
クエスト	一人ひとりに自尊感情と人権意識を育てる「地域と結んだ総合的な学習」＝「ドリーム・ワークス」の精選と充実・発展
クエスト	校内LANを活用した情報教育の展開
クエスト	学校・地域・家庭が協働して子育てをする地域教育コミュニティづくり

### (1) 実践課題（研究内容）

基礎・基本の確実な定着と個に応じた発展的学力の伸長をめざした授業改革

生徒の生活の現実・夢をみすえ、自尊感情を育む集団づくり・学級づくり

一人ひとりに自尊感情と人権意識を育てる「地域と結んだ総合的な学習」＝「ドリーム・ワークス」の充実・発展

- 3年間を見通した進路学習を充実・発展させる。自分を見つめ、自分を広げることを通して、自分の夢＝進路や生き方を実現していくことを目標にした総合的な学習を進める中で、生徒一人ひとりに自尊感情・人権意識を育て、将来の生き方や自分の意志で切り開く力をつける。
- 地域の人材活用と地域と結びついた総合的な学習を推進する。人や自然を愛し地域に貢献する力、人権と共生を尊重するしなやかな感性を身につけさせる。
- 総合的な学習の時間と教科との関連を深化させる。自分で課題を見つけ、自ら学び・自ら探求する力など総合的な学習の時間で身につけた「学び方」や学習に対する意欲を教科の学習に生かす。
- 総合的な学習の内容や学習を通してつけるべき力を保護者に伝えていくなど、保護者へのアカウンタビリティの推進により、内容のさらなる深化をはかる。
- 豊かな体験活動学校支援委員会を組織し、「知識」の活用・実践化をはかる豊かな体験活動のさらなる創造につとめる。
- 教育活動全体において「心のノート」を活用し、生徒自らが道徳的価値について考える契機とする。

#### 校内LANを活用した情報教育の展開

- 「よりよい授業」「わかる授業」を行うための「道具」として情報機器を教科学習で活用する。教室LANの整備、機種を更新を受けて、今まで「パソコンリレー授業」として積み上げてきたプログラムを再検討し、「すべての授業」において、コンピュータやインターネットの活用をめざす。
- 総合的な学習＝ドリーム・ワークスでの活用において、調べ学習の道具としてインターネットを活用する。また、取り組みや学んだことをホームページにし、地域に発信する。
- 情報機器を活用し、共同学習・交流学习をさらに進める。平成13年度交流を持ったシアトルの公立中学校、修学旅行先の長野県の中学校とテレビ会議を継続する。
- 不登校生徒の指導に教育交流事業を活用する。
- ホームページの充実に向け、毎月の更新にむけ体制をつくる。
- 全教師が積極的に活用できるように情報教育部が中心になって教職員のパソコン研修を充実させる。

## 学校・地域・家庭が協働して子育てをする地域教育コミュニティづくり

- 校区のネットワークを基盤に、保幼小中で共同学習、指導法の統一、子ども観の統一などつながりを強化する。また、「中高連携委員会」を継続し、中高の連携の中で生徒を指導していく。
- 「地域教育協議会」を軸にボランティア活動など地域をとともに、取り組みを進める。ヒューマンタウンフェスティバルに参加する組織を拡大する。
- 「三中ハローワーク」(職場体験学習)、コミュニティレッスン(保護者体験授業)、文化講座など三中校区地域教育協議会の後援のもとで、学校と地域・家庭の協働の関係を築く。
- 学校自己診断をもとに開かれた学校づくりの推進と保護者へのアウトリーチをはたす。

## 3 職業体験学習～三中ハローワーク～

### 1. 進路総合学習としての職業体験学習

三中ハローワークは今年で第8回目を迎える。ハローワークは、将来のことや進路のことを自ら考えられない生徒にとっては、自分の親の仕事を見つめ、自分の将来を見つめる上で大きな転機となっている。

「実際の職場で、働くということを経験したい。」「働くってということは、どんな苦勞や喜びがあるの?」という生徒達の気持ちを大切に、「子ども自身が夢を持ち、地域のネットワークづくりの一員となる」ことへの第一歩の取り組みとして位置付けている。

本校においては、3年間の総合的な学習を中学校教育の総和としての「進路」をテーマに展開している。

### 2. 今年度の三中ハローワークの特徴

今年度の三中ハローワークの特徴は次の4点である。

1年3学期の「職業調べ」との関連、また、夏休みの生徒の活動を考え、実施時期を従来の2年生の2学期から、2年の1学期に完全移行したこと。

事前に地域講師を招き、単なる体験にとどまるのではなく、働く思いや働くことのすばらしさを感じられるように学習を進めたこと。

学年の教師の中に地域担当をおき、地域と連携した関係をより強めたこと。

豊かな体験学校支援委員会を組織し、三中地域教育協議会、松原青年会議所、新町福祉会、理美容組合、ライオンズクラブ、ロータリークラブなど諸地域組織の協力で実施したこと。

### 3. 取り組みのねらい

本年度、三中ハローワークを行うに当たり目標として次の5点を確認した。

働くことの大切さや現実を知り、「しごとの数だけ夢がある。」(第7回しごとフェスティバルのスローガン)を実感させる。

地域の人々との出会いから学ぶ。事前、本番、事後、その後と継続的に関係を持ち、生徒一人ひとりが地域とネットワークを結ぶ。

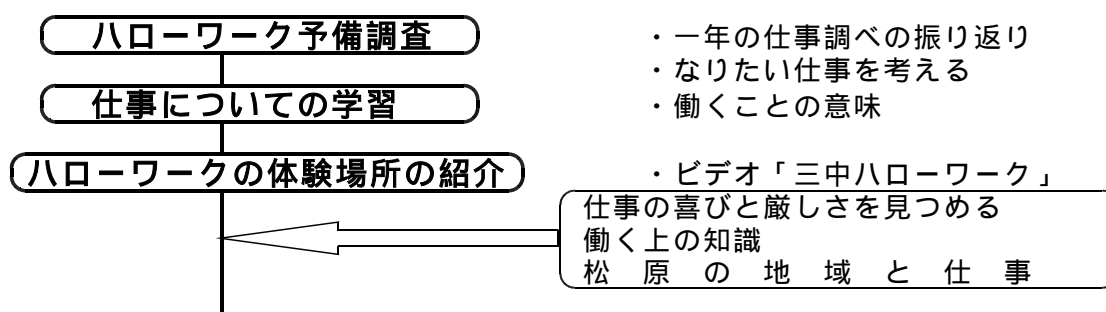
保護者の労働、思いと重ねる。

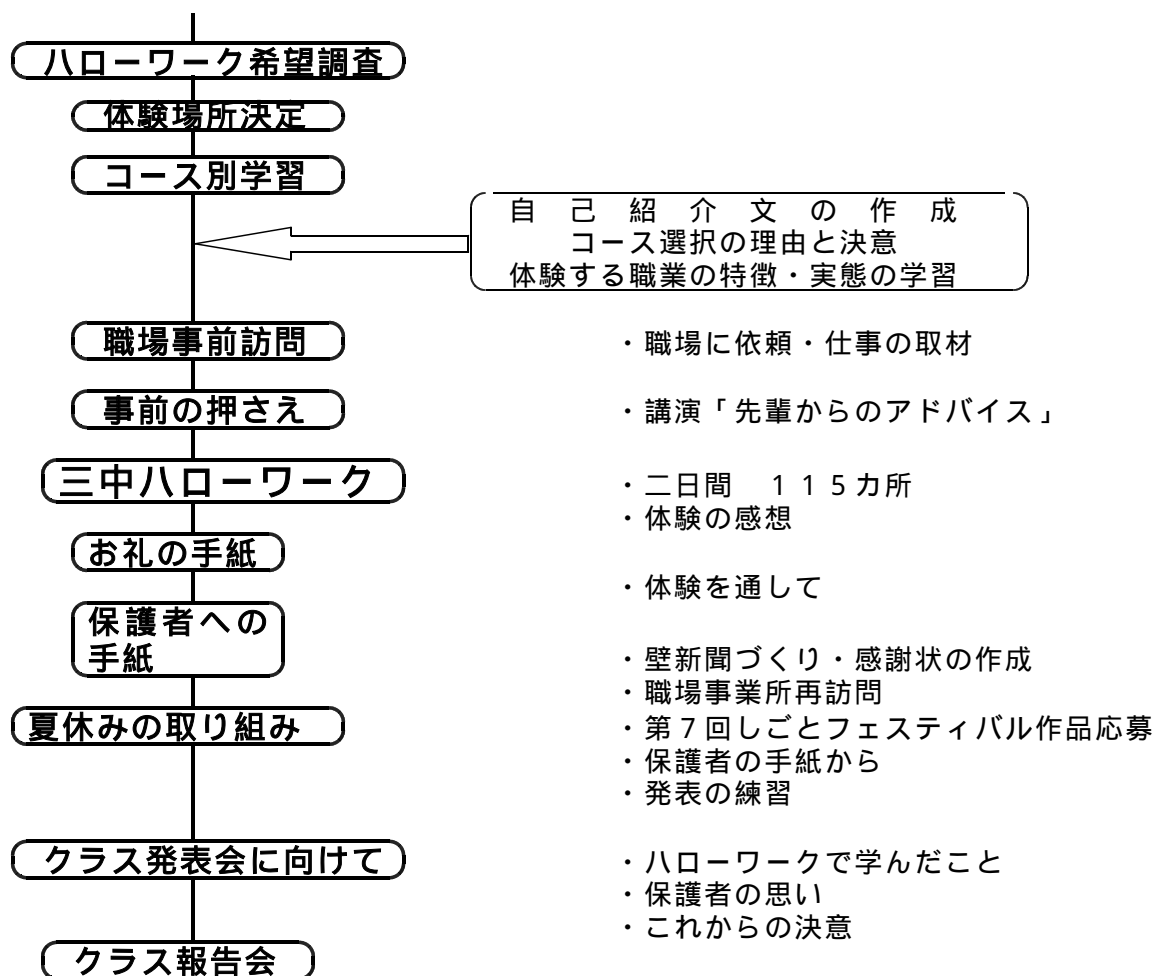
「自分の夢」を実現させるために、自分に必要なことは何かをつかむ。

自分で選択し、責任をもってやりきることをつかませる。

そのために、より一層教科授業との連携を大切にすること。事前・事後の学習の場面で、地域の人々が登場する場面を多くすること。生徒自ら、計画を立て考える機会や情報を地域に発信すること。等を教師の指導上の留意点とした。

### 4. 取り組みの流れ





## 5. 今年度の指導のポイント

### (1) 職場の確定

職場を確定にあたって、1年次の仕事調べの学習を踏まえた子どもの希望職種を調査し、できるかぎり生徒の希望する場所で体験できるようにしたことである。

生徒達の職場決定にあたっては、職種ごとにコース分けし、子どもたちからアンケートを取り、医療・福祉・教育・公務員 製造業（地場産業） 飲食業 お店A（スーパー・花屋・文房具・理美容・衣料品） お店B（金物・ガラス・畳・燃料・自転車・自動車・ガソリン）の5コースから大きく選択し、次に細かい職種の希望調査を行い、その結果から最終的に教師側で職場の割り振りをした。最終的には、地域教育協議会、青年会議所、新町福祉委員会、理美容組合、ロータリークラブ、ライオンズクラブの協力を得て、115カ所と多くの職場を決めることができた。

### (2) 事前学習

事前学習では、クラス別に、仕事の喜びと厳しさ、働く上での知識、松原の地域と仕事について学習させた後、コース別にうち合わせに向けての事前指導、心構えを学習した。事前訪問として、体験させてもらう職場を訪問し、お願いの挨拶をすると共に当日の出勤時間や服装、弁当の有無、心構えなどを打ち合わせした。事前訪問の中での緊張感が本番に向けての気持ちを引き締めるものになった。

事前学習で新たな取り組みとして仕事の達人に学ぶという学習を行いました。プロの調理師さん等に来てもらい、魚のさばきや大根のかつらむきというプロの技を実際に見て、仕事の専門性や技能を持つことの大切さ、プロとして仕事をする意識などを深く実感することができた。

### (3) 夏休みの取り組み

夏休み中にお世話になった事業所に再度子ども達自ら訪問することにより、職業・体験の内容を深めました。職場体験の本番後、お礼の挨拶に行かしていただいた際に、子ども達が自ら、事業主さんに問い合わせし、自分の予定に合わせて日程をくむという課題を設定しました。



夏休みを利用して報告会の準備をしたり、休み中にクラス登校日を設定し、壁新聞づくりをしたり、体験を振り返ったり、自分の感想や体験をホームページにまとめ地域向けに自分たちの情報を発信したりした。

(4) クラス報告会

クラス報告会の形式で、職場の人や保護者とともに、体験学習のまとめを行いました。自分が作った職場での体験を壁新聞を使って発表すると共に保護者に書いてもらった手紙を使い職場体験でつかんだ子どもの様子や普段働いている保護者の思いや我が子に対する気持ちを知り、自己の将来の夢の職業について交流することができた。

三中ハローワーク

2002年7月3・4日

2年 組 氏名	
<p><b>仕事名 ケーキ屋さん</b></p> <p><b>お世話になった方のコメント</b> この仕事につくきっかけが高校の時にケーキ屋でバイトしてた。いろんな所に行ったけど、自分に一番むいているのは、販売(ケーキ)やと思ったから。つらいこともあるけど、お客様が「この間買ったケーキおいしかったよ。」とか「ありがとう」と笑顔で言ってくれる人がおるから、うれしい。苦勞する事は、やっぱり売り上げが、上がらなかった時かな。仕事で、こだわっていることは、(good quality)「最高の品質」(good price)「最高の価格」(good service)「最高の気分」と、あと衛生管理とお客様にいかに気持ちよく、買っていただけるか、だね。</p>	<p><b>事業所名 フラワー</b></p> <p>写真：こんな仕事を体験をしました パンの袋づめ。</p> 
<p>写真： </p>	<p>シュークリーム(2種類)の袋詰め。 シュークリームの箱を作って中にシュークリームを入れる ケーキの入れ替え。 商品の補充。 フラワーの箱作り。 紙袋のスタンプ押し(約400枚)。 フラワーのシール作り。 商品の箱作り。</p>
<p>・自分ががんばれたこと。 1回も、失敗しないように、神経ピリピリ張りつめてやった。 ・しんどかったこと。 立ち仕事で足の裏が痛かった。 ・よかったと思うこと。 自分の将来にいかせる事を、いっぱい学べて良かったし、従業員の人たちが、(特に私がお世話になった さん)みんな優しかった。</p>	<p><b>体験の中から見えてきたこと</b> ・こんなことでほめられました。 予定時間より、早く職場についたこと。 ・こんなことで怒られました。 お客様に見える位置で、だらしないかっこをしてたこと。 ・そのことで思ったこと。 身だしなみ、お店の雰囲気、1人1人の態度が大事なんだなーと思った。</p>
<p><b>今後の決意</b> ・学校でがんばること。 自分のやるべき事は最後までやる！！ ・家でがんばること。 今も家の手伝いしてるけど、もうちょっとだけ自分のできる手伝いはやろうかな、とおもった。</p>	